

## 【会情報】

【会員企業ご訪問：Vol 141】

# 明石プラスチック工業株式会社（兵庫支部）

今回は、兵庫県明石市魚住金ヶ崎にある明石プラスチック工業株式会社の専務取締役 生水口 高志様、取締役 部長 田代 正春様を訪ねました。

本社住所	兵庫県明石市魚住町金ヶ崎 1182-1
電話/FAX	078-936-1601/078-936-9682
資本金	3,200万円
創業	昭和34年9月14日
成形機	圧縮成形機 50t～300t 24台 熱硬化性射出成形機 80t～50t 10台 熱可塑性射出成形機 15t～130t 18台
従業員数	29名（男女比6：4）



立山 武氏（左）、生水口 高志 専務取締役（中）、田代 正春取締役部長

## 沿革

創業者である故神谷光郎氏は旧神戸工業専門学校（現在の神戸大学工学部電気科）を卒業し、明石の井筒製作所に勤務していました。昭和29～34年にかけて、相続で土地財産を受け継いだことで起業したのがきっかけです。もともと電気の知識があったので、プラスチックで絶縁物を製作しようと研究した結果、自動車のエンジン周りの部品の製造にたどり着きました。明石市内で住宅街の中にあった最初の工場は、手狭となった上、近隣の住人から苦情が出たこともあり、昭和39年に現在の魚住に移転しました。日本の高度経済成長期とも重なり順調に成長を遂げ、取引先企業の方々と良好な関係を築き、充実した創業期を過ごせました。



本社（航空写真）

## 当社の強み・製造製品

弊社の強みは、お客様の要求に対して金型製作から成形品の製造まで一貫したシステムで対応できることと、熱硬化性と熱可塑性の両方の樹脂を成形できるため幅広いニーズに対応できることです。製品について、ギヤ、エンジンのヒートインシュレータ部品、ポンプ部品、各種防爆部品、電気関係の絶縁部品、熱硬化性樹脂製プーリーを製造しています。プーリーについては、某大手産業機械メーカー 射出ユニット部射出成形機に金属製プーリーの代替として使用されています。弊社で使用する成形機にのみ、当社製プーリーを搭載して納入してもらっていましたが、その成形機のメンテナンスに来られた技術者が作動音の静かさに驚き、採用になったことがきっかけです。また、他にも段ボールの裁断機メーカー、ロボットの搬送メーカーなどの機械に幅広く利用されています。自社ブランドとして特許を取得した製品もあり、さらに多くの分野で使用していただけるようPRしていきたいと考えています。プーリー用に使用している材料は特別に配合されたフェノール樹脂を使用しており、プーリーを筆頭に現在金属製の製品をプラスチックに代替できるよう検討を進めています。



熱硬化性樹脂性プーリー

## 弊社の取り組み

先代の福田孝治から福田方子現社長へと代替わりしたことをきっかけに大きく内部編成を変えるにあたって社名はそのまま、ロゴを刷新しました。取引先企業からの愛称である「AKAPLA アカプラ」を採用しロゴ化いたしました。ブランドロゴの意味は、Pはプーリーのデザインとなっており、ロゴ字体は金型の力強さとプラスチックの柔らかさを掛け合わせたイメージとしています。



— 豊かな未来へ —

新ロゴ

弊社の方針としては、「兵庫県を代表するものづくり、成形メーカーになること」としてあります。そのための中期経営計画を策定しており、現在1年目となっています。3年を目途に改革、発展させていきたいと考えていますが、ヒト、モノ、情報、設備などの会社の資源を中期経営計画に沿って整備し、フル活用していくようにし



作業風景

ていきたいと思っています。目標としては、単に現状の延長線上で仕事をしないよう、目的を持った転換を行うことです。また、3年後の実現可能なゴールに向かって経営層、従業員が一緒になって進んでいくことを明確にしたいとの思いがあります。具体的には、人材の投入、設備導入、賃金体系、顧客開拓、マーケット開拓、人材育成などを細かく決めていきます。これらについては、従業員すべてと共有しています。始めてまだ短い期間ですが、計画通りに進んでおり、効果は表れてきています。この計画を行うことによって、一番の効果は従業員の顔つきや仕事への取り組み方が変わってきたことです。

作業着についても今までは、個々で自由な作業着を着用していましたが、会社としての統一感を出すために創業以来、

初めて決まったユニホームを着用することとしました。選定にあたっては制服委員会を立ち上げて、従業員の意見を取り入れながら一緒に選びました。このように従業員と一緒にすることで従業員も今変革期にある会社を支えているという実感を持つことができ仕事へのやりがいを見つけてもらえたと感じています。

5S 活動についても取り組んでおり、工場をショールームのように綺麗にしていくことが今の目標となっていますが、まず 2S を徹底して実施できるよう取り組んでいます。

#### ※ 会社を拝見して ※

金型製作から成形まで一貫してできることで、仕事の依頼があった際に素早く対応ができ、問題解決ができることは強みであると感じました。また長年蓄積された技術で多くの設備や樹脂を使いこなし、幅広いニーズへの対応力に優れることで顧客の信頼を勝ち取っているのだと思いました。

新しいロゴや制服などを新たにして、今変革期にあり、取材に伺った際には、従業員からとてもイキイキした表情で活気に溢れている印象を受けました。また、従業員と一緒に会社を変えていきたいとの思いが強く伝わってきました。

◎ありがとうございました

取材：事務局 矢野・平

※本記事記載の情報については、2017年8月21日現在のものとなります。

掲載希望の方は事務局（06-6214-8300）までご連絡ください